

マツダ真空管 6SA7-GT

用途構造 5 格子変周管

特性概要 6SA7-GT は傍熱型でスーパー・ヘテロダイ
ン受信機，特に全波受信機等の局部発振と混合
を一つの球で行うように設計された5格子変周
管であります。

発振周波数安定度は特に優れて居ります。

カソード 傍熱型(オキサイド被覆・等電位)

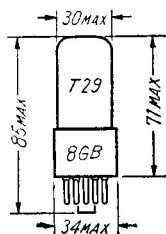
ヒーター電圧 6.3V

ヒーター電流 0.3A

バルブ T-92

ベース 8GB

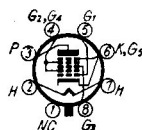
外形



電極接続

- 1 接続なし
- 2 ヒーター
- 3 プレート
- 4 スクリーン
- 5 オッシレータ
ー・グリッド
- 6 カソード，サ
プレッサー
- 7 ヒーター
- 8 グリッド

ベース接続



電極間静電容量 (概略値) (外部シールド付)

- グリッドと他全電極間(高周波入力)..... 11.0pF
 プレートと他電極間(混合部出力)..... 11.0pF
 オッシレータ・グリッドと他全電極間(発振部入力)....8pF

グリッドとプレート間	0.5pF
グリッドとオシレーター・グリッド間	0.4pF
オシレーター・グリッドとプレート間	0.2pF
オシレーター・グリッド他電極間 (カソードとサブレッサーを除く)	5pF
オシレーター・グリッドとカソード (サブレッサーを含む)間	3pF
カソード(サブレッサーを含む)他電極間 (オシレーター・グリッドを除く)	14pF

最大定格

ヒーター電圧	5.7Vより6.9V
プレート電圧	最大300V
スクリーン電圧	最大100V
スクリーン供給電圧	最大300V
グリッド電圧	最大0V
プレート損失	最大1.0W
スクリーン損失	最大1.0W
全カソード電流	最大14mA
ヒーター・カソード間電圧	最大90V

動作例

	自励の場合	他励の場合
ヒーター電圧	6.3V	6.3V
プレート電流	250V	250V
スクリーン電圧	100V	100V
グリッド電圧	0V	-2V
オシレーター・グリッド抵抗	20K Ω	20K Ω
プレート抵抗	1.0M Ω	1.0M Ω
変換コンダクタンス	450 μS	450 μS
変換コンダクタンス	2 μS	2 μS

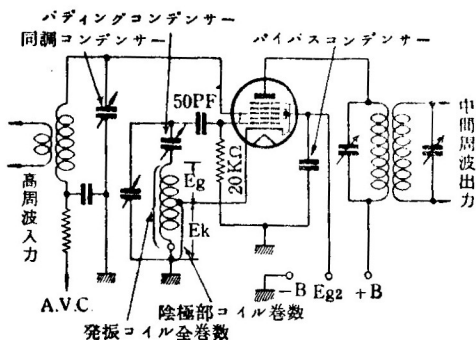
(グリッドに-35Vを与えた場合)

プレート電流3.5mA	3.5mA
スクリーン電流8.5mA	8.5mA
オシレーター グリッド電流0.5mA	0.5mA
全カソード電流12.5mA	12.5mA

発振部特性

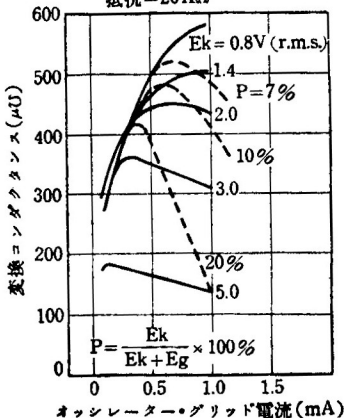
グリッド電圧0V
オシレーター・グリッド電圧0V
プレート電圧100V
(スクリーンをプレートに結ぶ)	
相互コンダクタンス4500 μ V
増幅率13
プレート電流27mA

使用例



動作特性(自励振)

ヒーター電圧=6.3V
 プレート電圧=250V
 スクリーン電圧=100V
 グリッド電圧=-1V
 オッシレーター・グリッド
 抵抗=20K Ω



動作特性(他励振)

ヒーター電圧=6.3V
 プレート電圧=250V
 スクリーン電圧=100V
 グリッド電圧=-2V
 発振グリッド抵抗=20K Ω
 発振グリッド電流は発振電圧
 を調節して変化させる

